

記者発表資料
平成23年 6月24日

所 属	企画部 行政改革推進室
担 当	室長：田中、係長：小林
連絡先	0584-81-4111（内線277）

第五次総合計画の施策に対する市民意向調査の結果について

1. 趣旨

第五次総合計画（計画期間：平成20年度～29年度）の施策及び事業を対象として実施している行政評価を補完するものとして、計画内の基本的な施策の現状に対する市民の満足度及び重要度を把握するためのアンケート調査を実施した。

本調査は平成20年度から開始し、今年度が4回目の実施となる。

2. 調査対象

市内在住の18歳以上の市民1,000人を無作為に抽出

3. 調査方法

郵送配布及び郵送回収

4. 調査期間

平成23年4月15日～5月6日

5. 調査内容

第五次総合計画 前期基本計画の基本施策（48施策）に対する満足度及び重要度を5段階で評価（基本施策名は、別添資料「市民意向調査結果」のとおり）

6. 回答状況

(1) 回答結果

発送数	回答数	回答率
1,000	401	40.1%

(2) 性別

性別	回答数	割合
男	168	41.9%
女	186	46.4%
無回答	47	11.7%

(3) 年齢別

年齢	回答数	割合
18～29歳	35	8.7%
30～39歳	57	14.2%
40～49歳	76	19.0%
50～59歳	67	16.7%
60～69歳	85	21.2%
70歳以上	69	17.2%
無回答	12	3.0%

7. 分析方法

次表のとおり各選択肢を点数化し、各選択肢の回答数にその点数を乗じ、回答者数で除することで、満足度及び重要度の加重平均値を算出し分析した。

【満足度】		【重要度】	
選択肢	点数	選択肢	点数
5：満足している	+2点	5：重要である	+2点
4：やや満足している	+1点	4：やや重要である	+1点
3：ふつう	0点	3：ふつう	0点
2：やや不満である	-1点	2：あまり重要でない	-1点
1：不満である	-2点	1：重要でない	-2点

8. 満足度

満足度全体の加重平均値は2年連続で上昇していたが、今回は前年度と同じ値となった。(加重平均値及び順位は、別添資料「市民意向調査結果」のとおり)

(参考)満足度の加重平均値の推移

年度	20年度	21年度	22年度	23年度
満足度の加重平均値	-0.06	-0.02	0.03	0.03

【上位、下位の5施策】

満足度の高い施策	水道 0.58	下水道 0.40	健康 0.24	廃棄物 0.17	医療 0.17
満足度の低い施策	中心市街地 -0.27	危機管理・防災 -0.21	農業 -0.17	就労支援 -0.17	森林・林業 -0.15

○満足度の上位5施策は、「水道」、「下水道」、「健康」、「廃棄物」、「医療」となった。「水道」、「下水道」、「健康」、「医療」は、昨年度も上位5施策であり、傾向は大きく変わっていないが、「廃棄物」が初めて上位5施策に入った。

- 「廃棄物」の加重平均値は、調査開始時から上昇傾向にあり、ごみの減量化やリサイクルへの取り組みが評価されているためと思われる。

(参考)「廃棄物」の加重平均値及び順位の推移

施策名	20年度		21年度		22年度		23年度	
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位
廃棄物	0.03	11/48	0.09	6/48	0.11	8/48	0.17	4/48

- 上位5施策ではないが、「道路」は、前年度比0.1ポイント増と大幅に上昇し、順位も20位上昇した。

- 満足度の下位5施策は、「中心市街地」、「危機管理・防災」、「農業」、「就労支援」、「森林・林業」となった。「中心市街地」、「農業」、「就労支援」は、昨年度も下位5施策であった。

- 「危機管理・防災」は、加重平均値が前年度比0.11ポイントと大幅に下落し、下位5施策に入った。これは、3月に発生した東日本大震災の影響を大きく受けているためと思われる。

- 下位5施策ではないが、「治山・治水」は、加重平均値、順位ともに大幅に下落した。これも、東日本大震災の影響を大きく受けるとともに、本市における災害のイメージが、地震だけではなく水害もあるためと思われる。

(参考)「危機管理・防災」及び「治山・治水」の加重平均値及び順位の推移

施策名	20年度		21年度		22年度		23年度	
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位
危機管理・防災	-0.34	47/48	-0.10	36/48	-0.10	41/48	-0.21	47/48
治山・治水	-0.21	42/48	-0.02	20/48	0.08	15/48	-0.06	38/48

- 「中心市街地」は、調査開始時から4年連続の最下位となったが、加重平均値は上昇傾向にあり、前年度からは0.07ポイント上昇している。これは、大垣駅北口広場整備をはじめ活性化に向けて継続的に取り組みをしている結果と思われる。

(参考)「中心市街地」の加重平均値及び順位の推移

施策名	20年度		21年度		22年度		23年度	
	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位	平均値	順位
中心市街地	-0.43	48/48	-0.33	48/48	-0.34	48/48	-0.27	48/48

- 「子育て支援」は、上位5施策には入らなかったが、年齢別に分析すると、子育て世代である30歳代で、順位が前年度に引き続き5位となるとともに、～29歳代で、加重平均値が前年度比0.17ポイント増と大幅に上昇した。重要施策である「子育て支援」について、子育て世代からは一定の評価をされていると思われる。

9. 重要度

【上位、下位の5施策】（加重平均値及び順位は、別添資料「市民意向調査結果」のとおり）

重要度が高い施策	危機管理・防災 1.49	治山・治水 1.36	消防・救急 1.34	医療 1.15	防犯 1.12
重要度が低い施策	住生活 0.34	男女共同参画 0.35	多文化共生 0.40	人権 0.46	生涯スポーツ 0.47

- 重要度の上位5施策は、「危機管理・防災」、「治山・治水」、「消防・救急」、「医療」、「防犯」となった。「危機管理・防災」、「治山・治水」、「消防・救急」、「医療」は、昨年度も上位5施策であり、傾向は大きく変わっていない。
- 特に、「危機管理・防災」、「治山・治水」、「消防・救急」の加重平均値は、いずれも前年度比0.16ポイント増と大幅に上昇している。これは、満足度と同様に、東日本大震災の影響を大きく受けているためと思われる。
- 重要度の下位5施策は、「住生活」、「男女共同参画」、「多文化共生」、「人権」、「生涯スポーツ」となった。「住生活」、「男女共同参画」、「多文化共生」は、昨年度も下位5施策であり、傾向は大きく変わっていない。

10. 加重平均値による分析

各施策の満足度及び重要度の加重平均値を基に、次の4つに区分した。

前年度と比較して、「①早期改善施策」が2施策減少し、「②随時改善施策」と「④長期対応施策」がそれぞれ1施策増加している。

区分	解説	22年度 (施策数)	23年度 (施策数)	増減
①早期改善施策	重要度は高いが満足度は低く、優先的に推進すべき施策	14	12	▲2
②随時改善施策	重要度、満足度が共に高く、今後も必要に応じた対応が求められる施策	9	10	1
③現状維持施策	重要度は低いが満足度が高く、現状レベルで良いと考えられる施策	11	11	0
④長期対応施策	重要度、満足度が共に低く、長期的な視点で取り組むべきと考えられる施策	14	15	1

①主な早期改善施策（重要度が高いが、満足度は低い施策） ※表中の数値は加重平均値、（ ）内は順位

施策名	設問No.・項目	満足度	重要度
危機管理・防災	19：地震災害などに対する備え	-0.21(47)	1.49(1)
治山・治水	18：治水・水害に対する備え	-0.06(38)	1.36(2)
防犯	21：防犯対策の充実	-0.05(37)	1.12(5)
就労支援	17：就労環境の整備など勤労者福祉の向上	-0.17(45)	0.91(12)

②主な随時改善施策（重要度、満足度 共に高い施策） ※表中の数値は加重平均値、（ ）内は順位

施策名	設問No.・項目	満足度	重要度
消防・救急	20：消防や救急体制の整備	0.15(6)	1.34(3)
医療	29：保健施設、医療施設の充実	0.17(4)	1.15(4)
廃棄物	25：ごみの減量化やリサイクルの推進	0.17(4)	0.95(9)
下水道	8：下水道の整備	0.40(2)	0.82(16)

③主な現状維持施策（重要度は低いが、満足度が高い施策） ※表中の数値は加重平均値、（ ）内は順位

施策名	設問No.・項目	満足度	重要度
水道	7：上水道の整備	0.58(1)	0.74(25)
生涯スポーツ	41：スポーツ環境の充実	0.10(11)	0.47(44)
文化財	43：文化財の保護・活用	0.11(9)	0.50(40)

④主な長期対応施策（重要度、満足度 共に低い施策） ※表中の数値は加重平均値、（ ）内は順位

施策名	設問No.・項目	満足度	重要度
住生活	3：公営住宅や分譲宅地の整備	-0.01(34)	0.34(48)
消費生活	23：消費者相談体制の充実	-0.02(35)	0.48(43)
森林・林業	15：林業の育成・支援	-0.15(44)	0.52(37)

11. 最重要施策

今年度から、各施策の重要度を相対評価してもらうため、今後特に重要と思われる施策を3つ選択する設問を設けた。「危機管理・防災」及び「治山・治水」が上位の1位、2位を占めている。

順位	施策名	選択者数（人）	割合	区分
1	危機管理・防災	141	39.6%	早期改善施策
2	治山・治水	75	21.1%	早期改善施策
3	社会保障	57	16.0%	早期改善施策
4	学校教育	48	13.5%	随時改善施策
5	医療	46	12.9%	随時改善施策

12. 調査結果の今後の活用方法

市民満足度の高い行政を実現するため、経営資源（人員・予算）の最適配分など、事業の重点化及び取捨選択のための参考資料として活用していく。